

ぶな

2021年6月号

NO. 507



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

《巻頭言》

登山と平和

歩くことは登山や生活の基本です。歩けることは幸せです。毎年、平和のため6月に滋賀県に原水爆禁止国民平和大行進がやってきます。国民平和大行進は1958年に、宗教者・被爆者や市民が核兵器廃絶を訴えるため始まり、今年で64回目を迎えます。5月に東京夢の島を出発し8月広島、長崎を目出して歩きます。毎年6月16日岐阜県関ヶ原でリレーの横断幕を引き継いで山科まで6日間かけて歩きます。今年は昨年と同様コロナ禍のため行進は自粛されますが、市町の首長や議長に平和に関して要請し、駅や街頭で平和を訴えます。

労山は1960年に創立された当初から、軍国主義復活に反対し、平和を大切にしてきました。1980年代には「登山と平和」が多いに議論され1986年から労山内で全国的に平和行進が取り組まれ、労山旗がリレーされることになったと60年史に書かれています。

労山は今年2月の評議会において、「平和な世界、安心できる登山を実現するために核兵器禁止条約に日本政府が署名・批准すること」を求める決議をしました。いかなる場合も核兵器の使用・製造・威嚇等も国際法違反になりました。50か国以上の批准により今年の1月22日に核兵器禁止条約が発効しました。唯一の被爆国として日本も批准し、一日も早い核兵器廃絶実現のため世界をリードする国になって欲しいと願います。

戦争中は登山をしていたら非国民扱いだっただけでしょう。また海外遠征もできなかったでしょう。平和であるからこそ、安心して登山ができるをつくづく思います。

E.K

《もくじ》

◆巻頭言

「登山と平和」----- 1

◆もくじ ----- 2

◆例会案内

「夜叉ヶ池山と夜叉ヶ池」 6月20日----- 3

◆例会報告

「御池岳」 4月25----- 4

「イクワタ峠北峰」 5月8日----- 7

「小女郎谷北尾根」 5月15日----- 9

◆個人報告

「比良比叡トレイル」 5月3日~4日-----11

「霊仙山」 標識 5月8日-----13

(写真) ヤマツツジ

四明岳 5/14

《例会案内》

夜叉ヶ池山と夜叉ヶ池

美越の県境の山夜叉ヶ池山へ岐阜県側から池ノ又谷を登ります。
幽玄の滝、昇竜の滝や夜叉壁を見上げながら歩きます。運が良ければ夜叉ヶ池付近でニッコウキスゲやモリアオガエルの卵も見られます。

- 【日 時】 6月20日(日)
【行 程】 6:30 和邇＝木之本＝坂内川上 9:00～夜叉ヶ池山 11:30～
夜叉ヶ池 12:30～登山口 14:30
- 【体 力】 ★★★
【技 術】 ★☆☆
- 【担 当】 H部
【申込先】 PCメール
- 【締 切】 6月14日(月)

《例会報告》

御池岳

日 時 2021年4月25日(日)
参 加 者 H島(CL)、K原(SL)、K藤、S藤、I井、N野、N尾、H浦、H部史、H部美、K嶋、S水、K井、(13名)
行 程 堅田駅 7:00=鞍掛トンネル東口 P9:00~コグルミ谷登山口 9:20~コグルミ谷出会 9:38~カタクリ峠 10:28~御池岳 11:20~ポタンブチ 11:50(昼食) 奥の平 12:35~御池岳 12:50~日本庭園~鈴北岳 13:25~鞍掛峠~鞍掛トンネル東口 P14:45(解散)

堅田出発車3台、現地直行車2台が鞍掛トンネル東口駐車場に予定より早く到着した。コロナ下ではあるが好天の日曜日、駐車場は登山者の車でいっぱいである。

「心の山」と刻まれた石碑がある所からコグルミ谷に入る。コグルミ谷の名前の由来となったサワグルミや斜面一面に茂るコバイケイソウの緑が鮮やかである。登山道は谷を離れ峠状の広場へと続く。カタクリ峠と呼ばれている場所である。ここで小休憩。カタクリが可憐な花を咲かせている。御池岳頂上に到着し記念撮影後、先端が急崖となっているポタンブチへと向かう。ポタンブチ横手で展望を楽しみながら普段よりゆっくり昼食休憩にする。広々とした笹原の踏み跡を辿って奥の平を經由し御池岳頂上に戻る。

御池岳頂上から子尾根伝いに北西に下り広々とした草原の中を気持ちよく歩く。十字路を右にとり鈴北岳へ。鈴北岳は尾根上の台地で、すこぶる展望に優れていた。来た道の後方には御池岳のこんもりとした台上山塊が、反対方面には霊仙岳が、その後方に伊吹山。すばらしい展望である。ゆっくりと景観を楽しみたかったが風がきつくなってきたため、北方鞍掛峠へ県境尾根を縦走する。鞍掛峠を右折しトンネルへの道を下る。ザした急坂を慎重に下り東口駐車場に到着した。(記録：H島)

(一口感想)

御池岳は初めてでしたが、中々登り応えのある山でした。日本庭園を想わせる山頂付近の広々とした景色は雄大で、紫で可憐なカタクリの花も最高でした。(N野)

御池岳は、歩いていると、春の花とりわけカタクリの花が目を楽しませてくれ、木々の間からの眺望も良く、山頂では広大な平原の面白味があり、大変変化に富んだ山でした。新緑の良い季節に山行出来て、CLさん、皆様、本当に有難うございました。

感謝です。

(S藤)

バイケイソウの山かと思えるほど、バイケイソウがあちこちにあり、カタクリが、これもまたあちこちに可憐な花を咲かせていて、心和ませてくれました。 天気は良かったのですが、暑くて汗が額からぽたりぽたり、そして風が冷たく寒くて、暑さ寒さの繰り返しでした。

(1井)

一ヶ月ぶりの山行。日ごろの行いが良かった?!のか、晴天に恵まれて、新緑の山を思いっきり楽しみました。頂上から見る景色は絶景。そして何よりヒツはリスに会えた事。リスを見たのは初めてでした。(S水)





(カタケリ)



《例会報告》

イクワタ峠北峰(923M)

日 時： 2021年5月8日(土)

参加者： H池、T中 Y口 H島、K林、K藤、I井、S藤、O村、H藤

行 程： 近江高島駅集合 7:23=バス=黒谷—栗木田谷—イクワタ峠—朽木栃生
—細川=タクシー=堅田

前日の雨もおさまり、山々が目に眩しい緑色に染まり、気持ちのいい山行が期待できた。コロナ対策もあり、JR 近江高島駅集合とされた。その為いつもとは雰囲気の違いの山行でもあった。集合時間に遅れる人もなく近江高島駅に全員集合。7:27 発のバスに乗り黒谷へむかった。

黒谷バス停到着。8:00 ここでコロナ対策として2つの班に分かれて行動。栗木田谷へ舗装道路を10数分歩くと鹿、猪避けのフェンスがあった。これを開けて通り林道に入る。しばらくは川沿いの杉林の中を進んだ。

途中休憩もとり9:10に上りの尾根にとりつき、820mの地点で再度休憩。ここら辺りから目にも眩しい緑の若葉地帯となり、いい気分で歩いた。

10:25には比良縦走路に出て、10:35イクワタ北峰に到着した。素晴らしい景色と言いたいところだがこの日は黄砂も強く、またガスも流れており遠望は期待出来なかった。

そこから少し歩き、早い時間であるが昼食タイムとした。ガスで遠くは見えないが開けた場所で暑くもなく、寒くもなく結構いい雰囲気の中で食事だった。



11:15 に下山を開始し、ホトラ山頂でテアタイムとした。下山予定時間が乗合タクシーを予約した時間よりもかなり早くなるのでゆっくりにお茶とおしゃべりを楽しんだ。

下山口近くになるとシャガの花の群生地があり目の保養となる。

14:10 細川のバス停に着く。乗合タクシーは2台しかない。3台目は堅田からのピストンになり長時間待たされるどころ、運転手さんが他のタクシーを手配してくれたのでさほど待つこともなく堅田に帰れた。ちなみにタクシー料金は1人500円。バス路線が廃止された為大津市の補助で乗合タクシーを予約制で運行しているとのことだった。

以上

今回の例会では、サブリーダーに先頭を歩いてもらいましたので、リーダーは後ろで余裕を持って全体を見る事が出来ました。そのわりには、早く着き過ぎて時間が余り、申し訳なかったです。公共交通機関を使う時は時間に遅れてはいけないという意識があるのでちょうどいい時間に下りるのが難しかったです。

葛川地域「のりあいタクシー」は2台しかなく予約の上限が8人ということが当日分かり、皆さんにご迷惑をおかけしました。

それから、グループを2つに分けて行動したというのは、コロナ対策として密を避けるということがありますが、もう一つ、10人であっても状況によって人数把握が難しいのではないかと考えていることです。5人ずつにして、それぞれに人数確認をする係を置きました皆さんに協力してもらって無事例会を終えました。



《例会報告》

比良山系 小女郎谷北尾根

2021年5月15日（土）曇り

参加者 K藤 N村 H島 K林, T中.S藤, I井 H池

コース 金毘羅道登山口8：45＝小女郎谷登山口9：10～稜線合流点
11：30～蓬莱山12：00<昼食>12：30～金毘羅道林道出合
14：15～金毘羅神社下車デポ地14：50

明日にも梅雨入り、夕方から雨になるという湿り気たっぷりの天気でした。車利用の方は下山口の金毘羅道登山口に集合してから車2台で、電車の人は和邇駅と蓬莱駅から八屋戸の東屋へ送ってもらい、そこから歩いて小女郎谷登山口に集まりました。リーダーができるだけ少人数で、短時間の車移動になるよう配車を考えられました。

9：10 小女郎谷登山口から東側に回り込んで北尾根に取り付くのに、杉林の中を登りすぎて急斜面のトラバースになってしまいました。登り始めはみんなでゆっくりコースファインディングした方が良かったと反省です。と言っても危険な場所ではなかったです。

9：25 無事北尾根に取り付きました。ここからは稜線まで尾根を忠実に辿っていきます。500Mから650Mまでは私が登れる限界のすごい急登。

10：20 P717ここで先頭をリーダーから、サブリーダーに交代されました。リーダーが後ろに着くと全体を把握できるので良かったと思います。急登を終えてなだらか。自然林に代わって良い雰囲気ですが、霧が濃くなって視界が20mくらいになってきました。

11：30 縦走路、小女郎峠の少し北に出ました。強風、霧なのか小雨なのか、視界は10mくらいで、よく知っている蓬莱山への道を心細い思いで登りました。メンバーが8人もいて良かったです。

12：00～12：30 蓬莱山到着。山頂の西側にある比良大神奥宮社がきれいな避難小屋になっていて、そこで昼食。

12：30 小屋を出て、濃い霧の中、山頂からちょっと方向が変わると全然違うところに下りてしまうという怖さを感じました。それに8人みんな揃っているか心配。とても良く知っている、いつもあんなに賑わっている蓬莱山山頂で！です。

金毘羅道下山口の立派な道標が見つかって良かったです。でも、立入禁止という立て札もあります。以前は行けたゴンドラ駅に行けなくなっているためか、スキー客が入らないためかわかりません。金毘羅道に入ると風はなくなり、霧も薄くなって、イワカガミが両側に色とりどりに現れ良い道でした。途中、崩れていたり、倒木で行けなかったりする所はエスケープの道が作ってあり、安全のためロープもあります。危険はないですがぬるぬるで尻もちをついてしまいました。「歩きやすく改善できないかな。」という前向きな話をしながら下って行くとブナやトチの巨木、花をつけている樹木も多く、楽しめました。

14:15 コンクリート舗装の林道に出ました。毎年水質調査している金毘羅社の湧き水まで30分ほど下りました。舗装されていますが石が落ちていたり、陥没があったりで、一般車の通行は難しいです。林道出合いまで車で行けたら、金毘羅道は蓬莱山への最高のアクセスだと思うのですが、残念です。湧き水から5分ほどで車を駐車している金毘羅神社下の橋に着きました。その後、車組3人は登山口へ車回収に、残り2台でそれぞれ電車組を送るため解散しました。



《個人報告》

比良比叡トレイル

5月3日(月)4日(火) 両日とも晴れ

参加者：N尾、S藤 2名

行程：集合 3日 JR志賀駅 6:20→打見山 10:30→烏谷山 (11:30頃昼食)→葛川越
→南比良峠 14:00→金糞峠 14:50→八雲ヶ原 15:50泊
4日 八雲ヶ原 6:20→武奈ヶ岳 8:30→釣瓶岳 9:50→地藏峠 11:30(昼食)→
須川峠 13:00→蛇谷ヶ峰 14:30→くつき温泉 16:00→堅田駅

当初予定していた5連休の例会がコロナ禍で中止となり、行くところがなくなってしまったところを誘って頂き、喜んで行ってきました。

私は昨年のザックの重さにバテた苦い経験から、今回の重さは絞りに絞って13~14キロに抑えました。が、N尾さんは水を持たれたので、22キロ(超え!!?)を背負われました。(それでも普通に歩かれるN尾さんでした。)

今回、金糞峠周辺や八雲にはテント泊の人が多く、結構な賑わいでした。若いソロテン登山者ともあちこちですれ違い、そのうちの若者に話を聞くと蓬萊から登って北比良峠にテントを張ったとか。

道中、遅い春のまぶしい日差しのもと、ぶなの新緑は美しく、傍らでシャクナゲやオオカメノ木の花が咲く道を、ほぼ計画通りに蛇谷ヶ峰の頂上まで歩き通すことが出来ました。

話は変わりますが、蛇谷ヶ峰からの下りに差しかかったころ、H島さんとK原さんも蛇谷ヶ峰に来られているとの電話が入り、そのあとのN尾さんの下りのスピードの早いこと、早いこと！そしてほどなくして、K原さんとH島さんが私たちに追いついて、お二人はこれまた猛スピードでかけ下って行かれました。私はこの縦走でどこが1番しんどかったかというと、この蛇谷の下りです(!)。

そうこうするうちに、先に下りられたH島さんとK原さんに出迎えて頂き、「蛇谷ヶ峰登山口」の標識にタッチすることができました。これで無事縦走終了です。

帰りは、K原さん、H島さんのお車で堅田まで乗せて頂くという幸運付きでした。本当に有難うございました。もう、私の体はへろへろでした。



そして、長尾さん、本当にお疲れ様でした。一生の思い出となる体験をすることが出来ました。心から感謝致します。 (記：S 藤)

天気予報が良かったので思い切って6年ぶりに比良テント泊縦走に行き、新緑を楽しみながら無事に何とか歩けましたがやはりきつかったです。 N尾



くつき温泉 (トレイル標識)

《個人報告》

「靈仙山」標識

◇2021.5.8 (土) 曇り ◇ K原

◇還来神社～上龍華側登山口～靈仙山

散歩がてらに靈仙山をピストンした。比良山系の南端に位置する標高 750.5 mの山で登山口からの標高差は 566m です。近年、比良比叡トレイルで無視できない山となっています。ところで今日はこれまで山頂標識「靈仙岳」の誤記が気になっていたもので、簡単に「靈仙山」標識を手作りして設置してきました。実はこれ先日中止になった例会、比良比叡トレイル縦走記念に準備していたものです。

自宅から登山口まで車と徒歩で35分、ピストン2時間40分、弁当無しの午前中の山行でした。なお、下山中にバイク7～8台が山道を駆け上がって来るのに遭遇しました。タイヤで削られ荒れた山道を目にして怒りを覚えたことを付記します。





比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP

滋賀県勤労者山岳連盟

<https://aquafoal39.sakura.ne.jp>